

インドマザーテレサボランティアとホームステイプログラム

参加期間

2013年2月19日～3月13日3週間

参加動機

「死を待つ人の家」に行ってみたかった。でも、初の個人旅行でインドにひとりで行ける自信がなかったため、方法を探しているときに CEC のプログラムを見つけて申し込んだ。

ホームステイ滞在に関して

家族構成	お父さん お母さん
ペット	無
食事	おいしかった
生活形態（日本での生活と較べて異なる点、注意点など）	
<ul style="list-style-type: none">● ほかのレポートにもありますが、夕飯は遅いです。私のところは英語のレッスンを終わってから食事で、8:00～9:00の間でした。でも、家族は9:00以降に食べていることが多かったです。● 私のステイ先には洗濯機も冷蔵庫も電子レンジもあり、さらに専用シャワーとトイレもあったので、何不自由なく過ごせました。ただ、Hot Showerはなかったため、一週目はそれがきつかったです(Familyに言えば、お湯はもらえるとします。私は遠慮して言わなかったため…)● 朝の5:00から近所のお寺でお勤め(?)が始まります。少しうるさかったけど、起きる時間だったのでちょうどよかったです。	
感想	
<ul style="list-style-type: none">● Host Familyはめちゃくちゃ優しい方でした。常に私が快適に過ごせるように気を配ってくださいました。お掃除も、ボランティアに行っている時間に毎日してくださっていて、ホームステイだけホテル並みのホスピタリティを受けていました。● コミュニケーションも積極的にとってくださいろうとしていらっしゃいました。しかし、こちらにそれほどの英語力がなかったため、沈黙もしばしば…それが申し訳なかった!!● ステイ先のお父さんが洗濯をしてくれる(マシーンを使って)のですが…取り出しもやってくれたので下着はちょっと恥ずかしかった。それ以降は自分でしていました(なんで使わないの??とは言われましたがうまく答えられなかった。また、Kalighatに行っていたため、感染症等をFamilyに移したくないという気持ちもあって。)	

ボランティア活動に関して

カリガート（死を待つ人々の家）

活動内容と感想（活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい。）

- まず行くと洗濯から始まり、終わり次第患者さんとのコミュニケーションとなります。Kalighatでは基本的に男性は男性、女性は女性が介助するので、私は女性のフロアにしか入っていませんが、肌や髪にローションを塗ったり、座ってお話を聞いたりと言うのが主なコミュニケーションでした。男性の方では、ひげそり等もしていたようです。また、看護師などの資格を持っている方のみ、傷の手当等も行っていたようでした。

- エクササイズの時もあり、患者さんに歩いてもらっていました。スペイン人のボランティアさんが歌を歌って盛り上げていたので、それに便乗して踊りながら歩いていました笑。患者さん以上に、インド人のワーカーさんが面白がってくれました。
- それが終わると休憩。Thai とバナナとビスケットをいただきます(たまにポテトも出ました!!) この時間はぺちゃくちゃ みんなとおしゃべりでした。
- 休憩後は患者さんの昼食の配ぜんや片づけ、乾いた洗濯物を取り込んでたたむという作業を同時並行でやります。終わった順に帰っていました。
- 活動時間は 8:00~12:00。ただし Mother House に集まってから行くと、スタートは 8:15~8:30 くらいになります(バスで移動するので、その日の道の混み具合による)私は滞在中は 2 回だけ休みましたが、それ以外は毎日行っていました。また午後は 15:00~18:00 とのこと。私は行っていませんが、同様のことをしていたとほかのボランティアから聞きました。
- 8:30 からは朝のお祈りの時間みたいなものがあります。また、日曜の 10:00 からはミサがあります。どちらもできるだけ参加してほしいとのことでした。
- 思ったよりも元気な患者の方が多い印象を受けました。でも、患者さんにはどの方にも悲しい過去があることを知り、どう接していくかは常に迷いながら活動していました。自分にできることは精いっぱいやってきましたが、貧困、障がい、老齢などの様々なリスクを抱えている患者さんに自分は何ができたろうとも思います。単なる体験だけでは終わらない貴重な時を過ごさせてもらいました。日本に帰って来てからも、常に彼女たちのことは考え続けていこうと思いました。
- また、これとは別に Titaghar(たぶん地名。施設名はわかりませんでした。)というハンセン病患者のための施設の見学に行きました。(木曜日に不定期に行われている活動のようです。Mother House のボランティアルームの紙に書いて申し込みます。参加費は 100 ルピー。ボランティア全員でチャーターバスに乗っていきました)なお、写真撮影は禁止でした。
- 患者さんが優しく「ナマスター」と声をかけてくださいました。施設で使われているシーツ等の布類がここで作られていることもわかりました。
- 施設は線路の向こう側にあり(線路をみんなで横断しました!!)、「隔離」というイメージを受けました。日本でも同じようなことをしてきた歴史があるので、少しずつ病気に対する間違った知識が消えていけばいいなと思いました。

ホームステイ先からボランティア施設までの交通手段は？

- ステイ先→徒歩(10分)→Bangur(バス停)→221・223・227のバス(40~60分)→Mother House→45Bのバス→Kalighat(バス停)→徒歩(10分)→Kalighat(施設)
- Kalighat(施設)→Kalighat(地下鉄駅)→地下鉄(Dum Dum 行き 5 駅)→Park Street(地下鉄駅)→さだるストリート周辺でお昼・観光→Park Street(地下鉄駅)→地下鉄(Dum Dum 行き 8 駅)→Belgacha(地下鉄駅)→バス停→バス→Bangur(バス停)→徒歩(10分)→ステイ先
- このほかの行き方、帰り方もあります(ここにのせているものの組み合わせでいろんな方法があります)

Cultural activities に関して *受講された項目のお値段、感想をお聞かせ下さい。

英会話レッスン

- 無料(滞在費用に含まれる)

- 私の家には Kallol 氏の妹の友達 Dip 先生が来てくれていました。家庭教師が仕事とのことで、日本人は私の Host Family のところに来る人だけを教えているとのこと。私の英語力が poor だということとにかくしゃべることをした方がいいと言って、30~45 分間、週 6 回会話を中心とした lesson となりました。最初は話すネタが尽きたりして苦痛でしたが、最後の週は時間が足りなくなる時もありました。
- とても優しくインドのこと、自分の家族のこと様々なことを教えてくれました。
- 遅れてくることが多く(来るといった時間に来ないことが多く)、それで Host Mother がいつ私に夕食を提供すればいいのかで困っていることがありました(Lesson の後に夕飯だったため)。ホスト家の電話番号は知っているようだったので、連絡を入れてくれればいいのかと思いました。
- あまり日本には興味がないようでした。

ベンガル語レッスン

Dip 先生にボランティアで役に立ちそうな表現を聞いていました。親切に教えてくれました。患者さんの中にはベンガル語しかしゃべれない人も多かったので、助かりました。

YOGA

Indian Cooking

Bollywood Movie

1 回 200 ルピー。カロールさんがショッピングモールのシネコンに連れて行ってくださいました。「kai po che」という映画を見ました。言葉がよくわからなかったけど、カロールさんにはじめの場面の解説をしてもらって、話がわかりました。おもしろかったし、宗教について考えさせられる映画でした。

持ち物に関して

日本より用意し、役に立ったものは？

携帯用蚊取り線香(よく効きました)・殺菌効果のあるウエットティッシュ・おしりふき(下痢のときに役立ちました)・レトルトのおかゆ・電子辞書

その他、便利だと思うものは？

手ピカジェル(私は現地のを購入しましたが、気になる人は)・薬用のハンドソープやボディソープ(感染症対策に! !現地のスーパーでは石鹸しか見つかりませんでした)・サンダル(家用と外用は持って行ったが、ボランティア施設用がもう一足欲しかった。現地でもたくさん売っていましたが、自分に合ったのが見つかりませんでした)

コルカタ市に関して

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい。

セント・ポール教会…ステンドグラスのきれいに圧倒されました

JoJo…サダルから通りを少し入ったところにあるレストラン。食事をすると無料 Wi-Fi が使えます!! Music World…Oxford 付近、Park Street の反対側にある CD ショップ。CD・DVD のほか、置物なども売っていました。

サダル・ストリート・カフェ…露店ですが、安全な現地のチャイが飲めます。

反対にお勧めできない場所等があればその理由もお知らせ下さい。

New Market…私はあまり感じませんでした、友達は客引きが多くて疲れると言っていました。サダル・ストリートには、日本人女性を狙って自分に貢がせる男がいると噂になっていました。被害にあっていると気付かせないようにするのが手口ようです。実際、CECの人ではありませんが日本人女性がすごい勢いでお金を使っていて、日本人が忠告しても耳を貸さなかったそうです。もちろんサダルのインド人はそんな人ばかりではありませんが、Chai を飲もう、ラッシーを飲もうなどと言ってくる人にはきっぱりと断ることをお勧めします。

コルカタ以外の街を訪れた方は下記の質問にお答えください。

どちらに行かれましたか？

ずっとボランティアに行っていたので、行っていません。

交通手段、かかった時間、費用は？

感想

ご参加頂いた時期に関して

気候、お天気はどうでしたか？

毎日晴天。雨具一切必要なしでした。

シャワーも最初の週を除き、水で十分でした。

服装は？

長袖 or 半袖のTシャツとズボンでした。靴はサンダルで十分です。

インドの物価に関して

ご参加時のレートは？ 1ルピー＝約（1.8）円

何か購入されたものがあれば参考までお知らせ下さい。

（例：ミネラルウォーター1L 12ルピー（約32円）、焼き飯30ルピー（約80円）等。。）

ボトルウォーター…1L15～17ルピー、2L25～27ルピー(メーカーによって違いました。)

ビスケット…1つ10ルピー～80ルピー(これもメーカーやフレーバーにより様々)

布…1m80～140ルピー(激安!!)

ズボン130ルピー(現地でパジャマにしていました)

ストール…3枚で900ルピー(カシミア60%と言われましたが…)

チャイ…1杯5ルピー(露店のもの。店によって味は様々。)

ラッシー1杯17ルピー(現地で会った日本人が教えてくれました。レストランのものより濃くておいしかった)

予防接種に関して

渡航にあたり予防接種を受けましたか？ はい

はいの方、その種類をお知らせ下さい。

A型肝炎(2回)・B型肝炎(2回)・破傷風・日本脳炎

狂犬病も受けたかったのですが、近所の病院では短期滞在では受けられないといわれました。

また、破傷風・日本脳炎は自分の場合は大丈夫とのことでしたが、強化のために打ちました。

その他、今後の参加者に何かアドバイスがあればご記入下さい。又、ご自身がインドで撮られた写真など、お貼り頂き、写真の説明文も加えて下さい。

- 「楽しいだけじゃない旅」だったのがすごくよかったです。インドと言う国そのもの・貧困・宗教・カースト・ボランティアのあり方・つたない英語とベンガリでのコミュニケーション・自分のあり方…いろんなことを考えながら過ごした3週間でした。
- インドはまだまだ「裕福な国から来た旅行者」である私たちにとっては危険もある国です。コルカタはそう治安の悪いところではありませんでしたが、ぼったくられた話はずいぶんいろんな旅人から聞きました。知らないうちにトラブルに巻き込まれることもあるようです。私はその話を聞きながら、CECさんのプログラムでよかったということを感じました。ツアーよりも適度に自由歩きができて、完全な一人旅より安全な場所と食事が確保されているこのプログラムは、海外初心者の私にはありがたいものでした。
- CECの皆さん、Kallolさん、ホストファミリーのご夫婦には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。インドにはまた行きたいです。その時はよろしくお願いします。



- ホストファミリーと。お父さんは毎日朝早く出かける私を送り出してくれました(Thaiを入れてくれた)。お母さんのカレーは美味しかったです。お土産までいただきました。感謝してもしきれない!!(Thank you.としか言えない自分が情けなかった…)



- Kallolさんが、その週に参加したCECメンバーを連れて、飲み連れて行ってくださいました。キングフィッシャーのビールは日本のものより飲みやすく、ごくごく飲んでしまいました笑 ほかにもいっぱい取りましたが、続きはぜひ、ご自分で撮ってきてください☆

最後に、あなたのことをお知らせ下さい。

お名前(イニシャル、ニックネーム可)	Rainbow	女性
年齢	20代	